

平成27年度 「国民との科学・技術対話」講演会が行われました

12月10日に、今年度で3年目となる「国民との科学・技術対話」講演会が行われました。北海道大学創世研究機構 特任助教 小笠原 慎治先生を講師に迎え、「遺伝子操作で新しい生命体を創る」という演題で1時間半の講演が行われました。参加者は、1・2年生のみで16人でした。

講演内容は、DNAの構造から出発して、複製→タンパク質合成までを丁寧に説明するところから始まり、生物を十分に学習していない1年生でもわかりやすいものでした。次第に専門的な内容になり、遺伝子の発現・操作へと移り、最後に編集の例として何種類かの生物の特殊なスライドを見せていただきました。生徒にとっては今まで全く知らない分野の内容で、大変興味を持って聞いていました。特に講演後の質問では、頭が2つあるゼブラフィッシュに集中し、多くの質問が出ていました。受講後のレポートには、「知らないことをたくさん学ぶことができました。」「遺伝子操作が持つ人類の生存に関する可能性を知ることができました。」「説明はとてもわかりやすく、興味をそそられるものだった。2つの頭を持つ魚には特に興味を持った」等の感想が多くありました。

